

事務事業マネジメントシート(令和 2年度実績と令和 3年度計画)

令和 3年12月21日更新

事務事業名		体育施設維持管理運営事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政 策	3 教育の健康				所属部	教育委員会事務局教育部	課長名	飯開 輝久雄
	施 策	11 生涯スポーツの推進				所属課	生涯学習課	担当者名	田尻 真晃
	施策の柱	42 スポーツ施設(環境)の整備				所属班	スポーツ振興班	(内線)	1508
予算科目		会計一般	款 10	項 6	目 2	事業連番 10851	根拠法令	スポーツ基本法	
終了、開始年度		☐ 2年度で終了 ☐ 2年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	市が管理している体育館やグラウンド等のスポーツ施設を、安全で快適に利用してもらえるように管理運営する事業である。 内容は、使用申請に基づく予約の受付と使用料の受理、除草剤等消耗品の購入、電気代や水道代、管理委託料の支払い、施設の修繕や大規模な改修工事を実施している。
【業務の流れ】	市内スポーツ施設に係る清掃委託、管理委託、自家用電気工作物保守委託、学校開放管理委託、修繕業務及び改修工事に係る設計書作成・契約事務・監理・支払事務、消耗品購入支払事務及び運搬補充、光熱水費、燃料及び電話代支払事務、工事関係事務、施設貸出予約受付・収納事務、大会利用打合せ事務。
【主な予算費目】	消耗品費、光熱水費、修繕費、施設修繕費、燃料費、印刷製本費、役務費、委託料、使用料及び賃借料、工事請負費、備品購入費、負担金補助金及び交付金
【意見や要望】	総合運動公園多目的グラウンドおよび中央運動公園グラウンドにバックネット裏に倉庫を設置してほしい。グラウンドの照明で切れているランプがあり、明るくしてほしい。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 2年度実績(2年度に行った主な活動)(DO) 市内スポーツ施設の管理業務を行った。工事請負費では、栄体育館北側グラウンドの雨水排水改良工事を行った。		3年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 妙泉寺体育館屋根改修工事、メインアリーナ時計取替工事を予定している。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 件	予算の主な増減の理由
→ ア 委託契約件数	件	妙泉寺体育館床改修工事による増
→ イ 修繕件数	件	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 上記「【事業の内容】」に記載されている施設	(単位) 箇所	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
		→ ア スポーツ施設数
		→ イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 常に気持ちよく安全に利用できる状態を保つ。	(単位) 件	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
		→ ア 維持管理に関する苦情件数
		→ イ
*③成果指標設定の理由と 3年度目標値設定の根拠 ・「意図」が達成されているかどうかは利用者が判断することであり、そのひとつのものさしとして苦情件数を設定した。		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

(2) 各指標・総事業費 の推移		単位	30年度 実績(決算)	31年度 実績(決算)	2年度 目標(当初予算)	2年度 実績(決算)	3年度 目標(当初予算)	4年度 予定	5年度 見込	6年度 見込	
① 活動指標	ア 件	件	15	15	10	10	10	10	10	10	
	イ 件	件	27	25	18	35	20	20	20	20	
② 対象指標	ア 箇所	箇所	17	17	18	18	18	18	18	18	
	イ										
③ 成果指標	ア 件	件	3	3	3	3	3	3	3	3	
	イ										
投資 入費 量	事業 費 内 訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円					7,000			
		その他	千円	15,098	12,484	12,613	9,934	12,726	16,600	16,600	
		繰入金	千円								
		一般財源	千円	15,999	24,585	25,880	22,434	28,806	25,000	40,400	25,000
	(A) 事業費計	千円	31,097	37,069	38,493	32,368	48,532	41,600	57,000	41,600	
		(A)のうち指定経費	千円	8	8	10	8	10	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	人件 費	正規職員従事人数	人	4	4	5	5	5	5	5	5
		延べ業務時間	時間	1,910	1,910	3,500	1,979	3,500	2,000	2,000	2,000
		(B)人件費計	千円	7,529	7,569	13,944	7,803	13,944	7,968	7,968	7,968
トータルコスト(A)+(B)		千円	38,626	44,638	52,437	40,171	62,476	49,568	64,968	49,568	

事務事業名	体育施設維持管理運営事業	所属部	教育委員会事務局教育部	所属課	生涯学習課
-------	--------------	-----	-------------	-----	-------

2 評価の部（CHECK）

*原則は 2 年度の事後評価、ただし複数年度事業は 2 年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 2 年度目標達成度評価	☒ 達成した 施設老朽化による修繕等を行った。感染症拡大により大会利用が減少したことや、施設休館、時短などにより光熱費が減少した。
	② 3 年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 「体育施設維持管理運営事業」において、スポーツ施設の改修工事等を行うことにより、利用者からの苦情は少なくなる。
有効性評価	③ 成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 ハード面での苦情は施設改修実施で減少する見込みであるが、利用者のマナーに関する苦情もあるため、今後はその啓発を図り苦情数減を目指す。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☒ 他に手段がある⇒（具体的な手段、事務事業） ☒ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 市の施設なので、市で維持管理するのが妥当である。運動公園等、都市計画課管理の公園と隣接しているグラウンドもあり、連携して管理を行い成果を向上させたい。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 施設の老朽化に伴う修繕費が増加しており、公共施設等総合管理計画で管理施設の必要性を精査する。
	⑥ 人件費（延べ業務時間）の削減余地	☒ 削減余地がある ⇒【理由】 ☐ 削減余地がない ⇒【理由】 指定管理の検証が必要であるが、現時点で委託できる業務についてはすべて委託している。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 誰でも利用できる施設として公平である。市外者への使用料は体育館 3 倍、グラウンド 2 倍で負担してもらっている。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 シルバー人材センターに委託している業務を地域・団体に移行することも可能であるが、対価報酬を伴わないボランティアとして業務を引き受けてもらうことは難しい。

3 評価結果の総括（CHECK）

円滑な受付業務と適切な管理運営を行うことによって、安全で快適なスポーツ施設を提供できると考える。修繕や改修工事は計画的に進めていく必要がある。老朽化に伴う管理費は毎年増加している。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐廃止 ☐休止 ☐目的再設定 ☐事業統廃合・連携 ☒事業のやり方改善（有効性改善） ☒事業のやり方改善（効率性改善） ☐事業のやり方改善（公平性改善） ☐現状維持（従来通りで特に改革改善をしない） 公共施設個別計画などに沿った改修を行うことで、施設の長寿命化を図る。指定管理の導入により、施設の有効利用や窓口対応などの質的向上が見込まれるが、人件費分が負担増となる。				(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>						コスト			削減	維持	増加	成果	向上			○	維持				低下			
		コスト																										
		削減	維持	増加																								
成果	向上			○																								
	維持																											
	低下																											
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																												